

序章	長期構想委員会の概要
第1章	港湾及び背後地域の現況
第2章	目指すべき方向性
第3章	港湾への要請と課題
第4章	境港が今後担うべき役割
第5章	境港の長期構想における施策の展開方向

目指すべき方向性

➤ 目指すべき方向性

ロシア極東から中国沿岸部に至る**北東アジア諸地域とのゲートウェイ**として、また環日本海地域における西日本の交流拠点にふさわしい地理的特性を活かして、バルク、コンテナ、フェリー、RO-RO、クルーズ等**多様な船舶の定期航路化や寄港促進**を図り、産業振興や賑わいづくりなど**山陰地域の更なる発展に貢献する港**を目指す。

北東アジア諸地域とのゲートウェイとしての4つの視点

物流・産業

人流・賑わい

安全・安心

環境

目指すべき方向性

北東アジア諸地域とのゲートウェイ

項目	境港を取り巻く状況	今後、境港に求められる機能の方向性	
物流・産業	バルク	<ul style="list-style-type: none"> ・日本海側拠点港(原木) に選定 ・外港中野地区国際物流ターミナル供用開始(H28.9) ・船舶の大型化 ・岸壁・航路水深の不足 ・クルーズ船受入れにより岸壁が混雑 ・荷さばき地が狭隘で混雑 	バルク貨物取扱機能の強化
	コンテナ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本海側拠点港(国際海上コンテナ)に選定 ・コンテナ取扱量の増加 ・船舶の大型化 ・クルーズ船の受入れ増加により岸壁が混雑 ・輸出混載サービス開始 	コンテナ貨物取扱機能の強化
	外航フェリー(DBS)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際定期フェリー貨物の増加 ・外港竹内南地区貨客船ターミナル整備中 	国際定期フェリー貨物取扱機能の強化
	内航フェリー(隠岐航路)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車航送車両取扱台数の増加 	隠岐航路の物流機能の強化
	内航RORO船トライアル	<ul style="list-style-type: none"> ・内航RORO船トライアル輸送実施中 ・外港竹内南地区貨客船ターミナル整備中 	内航ROROの定期化
	エネルギー産業	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス新規建設計画 	エネルギー拠点の機能強化
	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・山陰道や葭津和田町線の整備 	交通ネットワークの強化

目指すべき方向性

北東アジア諸地域とのゲートウェイ

項目	境港を取り巻く状況	今後、境港に求められる機能の方向性	
人流・賑わい	クルーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・日本海側拠点港(外航クルーズ)に選定 ・大型クルーズ船の寄港増加 ・外港竹内南地区貨客船ターミナル整備中 ・中野地区ドルフィン(3基)整備済 	クルーズ船の受入環境の向上
	外航フェリー(DBS)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客者数の増加 ・外港竹内南地区貨客船ターミナル整備中 	旅客者の受入環境の向上
	内航フェリー(隠岐航路)	<ul style="list-style-type: none"> ・旅客者数は微減傾向 	隠岐の生活や観光を支える航路の維持
	マリーナ	<ul style="list-style-type: none"> ・公共マリーナJOCセーリング競技強化センター認定 ・2019レーザー級世界選手権大会開催 ・波浪の影響により、土砂が堆積 	マリーナ機能の強化
	海浜	<ul style="list-style-type: none"> ・港湾計画とのかい離(海浜の未整備) 	海浜のあり方検討
	みなとの賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・「みなとオアシス境港」登録 	みなとの賑わいづくりの促進
安全・安心	大規模地震の発生	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震発生の可能性 ・昭和南3号岸壁[耐震強化岸壁(緊急物資輸送)]整備済 ・竹内南岸壁(仮称)[耐震強化岸壁(幹線物資輸送)]整備中 	大規模地震時における緊急物資輸送及び物流機能の維持(コンテナ、外航フェリー、内航フェリー)
	港湾施設の老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化施設の増加 ・荷役岸壁における取扱貨物の集約及び再編 ・維持管理コスト増加 	港湾施設の老朽化対策、維持及びふ頭の再編
環境	リサイクルポート	<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル貨物の多様化 ・バイオマス発電所の増加 	リサイクル貨物取扱機能の強化
	港湾のグリーン化(CO ₂ 等排出量削減)	<ul style="list-style-type: none"> ・モーダルシフトの推進 ・内航RORO船トライアル輸送の実施 	内航RORO船の定期化